

学校教育目標

自分を育て みんなで伸びる

《学校経営の基本方針》

宮園小の児童が生きる未来の姿をしっかりと見据え、学習指導要領・「広島版『学びの変革』アクションプラン」、廿日市市教育振興基本計画の理念の着実な実現を目指す。

具体的には、チーム宮園小として、保護者・地域・関係機関と連携・協働しながら、「自立」「多様性の尊重」「挑戦」の観点から教育活動の改善・充実・創造を行い、「自立した学び手」育成を目指す。

目指す子ども像・教職員像

	自 立	多様性の尊重	挑 戦
子ども	自分を理解し、自ら学び続ける子	自他の違いを大切にし、助け合える子	積極的に挑戦し、粘り強く取り組む子
教職員	一人一人の児童の違いを理解し、成長を支援する教職員	一人一人の児童に深く寄り添える教職員	向上心を持ち、挑戦し続ける教職員

育成を目指す資質・能力
(◎は中学校区共通の資質・能力)

- ◎主体性・積極性 (チャレンジ精神)
- 思考力・表現力 ○自己調整力 ○情報活用能力
- 自己有用感 ◎協働性

確かな学力

- 基礎基本の定着
 - 個の見取りと支援の充実
 - 特性や進度等に応じた学習 自由進度学習
 - しっかり教える場面の精選
 - マスタリー学習
- 必然性のある思考・説明の場づくり
- ICTスキルの向上・情報モラル教育
- 多様な他者と協働する学びの場づくり
 - 異学年学習 外部人材の活用
- 学ぶ意欲を喚起する学習環境づくり
- 読書活動の推進
 - 学校図書館の積極的活用
- 興味関心に応じた課題に取り組む機会の設定
 - 個人探求学習
- 挑戦の場の設定と評価
 - 自主学習コンテスト チャレンジコンテスト
- キャリア教育の推進
 - ふるさと学習・本質的な問い

自立

多様性の尊重

挑戦

豊かな心・健やかな体

- 規範意識・相手意識の醸成
 - 挨拶・言葉遣い SST
- 不登校への対応
- 自己管理能力の育成
 - 生活・健康の管理(新型コロナ対策)
 - 安全・安心に関する指導
- 多様な他者と協働する活動の場づくり
 - 縦割り掃除 異学年遊び
- いじめの未然防止
 - 教育相談 アセスの活用
 - 「命の大切さを考える日」等の取組
- いじめ問題への即応
 - 積極的認知・丁寧な事実確認・組織的対応
- 自治活動の充実
 - 学級・児童会等でのリアルな課題解決
- ボランティア活動
- 体力づくりの推進

□学び方の獲得～自己の学びを見通し・振り返る活動～

□ICTの効果的な活用

チームで向上する教職員組織
★理念の共有・指導力の向上
★働き方改革の推進

信頼される学校
★効果的な情報発信・情報収集
★服務規律の確保

地域・中学校区の連携
★小中連携教育の推進
★地域学校協働活動